



# 戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス [y3totuka@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3totuka@edu.city.yokohama.jp)

FAX 881-9804

## ふわふわ言葉・ふわふわ態度

校長 鈴木 陽一

毎朝、遠くから「校長先生おはようございます。」と元気に挨拶してくれる子がいます。時には手を振りながら、にこにこ笑顔で挨拶してくれます。そんなあいさつをされると本当に、私の気持ちも温かくなります。私自身も笑顔になります。しかし、私からおはようと声をかけた時に、こちらを向かずに返事をしている子もいます。中には、そのまま何も反応せず、通り過ぎてしまう子もいます。何も反応しない子がいると「何かほかに考え事をしているのかな。」「まだしっかりと目覚めていないのかな。」と考えてしまいます。反応がない子が続くと、少し暗い気持ちになってしまいます。よく、ふわふわ言葉とちくちく言葉とありますが、朝のあいさつの何気ないしぐさを見ていると、言葉だけでなくしぐさにもふわふわしぐさ(態度)とちくちくしぐさ(態度)があるのだと考えさせられます。

戸塚小学校では、11月25日から人権週間として、お互いの存在(人権)を大切にすることはどういうことかなど、それぞれの学年に応じて指導をしています。そんな中の一つに、相手の存在を否定するような言葉が日常的に使われている現状がどの学年にもありましたので、全校を上げて、その言葉がどんなに相手を傷つけるものなのかを伝え、何気なく使っているときにはすぐに気づかせていくことを徹底して進めています。

一昨年に人権の講演会として、声優の佐久間レイさんに来ていただいた時のことを思い起こしました。話の中で、子どもたちに「よく、相手のいやがることや相手を排除するような言葉を言う人がいるけれど、その言葉を一番そばで聞いている人は誰だと思う?」と投げかけられました。すると、『自分』という答えがすぐに返ってきました。「自分の言っている言葉を一番よく聞いているのは自分である。汚い言葉やいやな言葉を発していると自分の心の中にそれが積もっていく。やさしい言葉や気持ちのよい言葉を言っているとやはりそれらが自分に積もっていく。」という話でした。わたしも、相手の気持ちを考えて言葉を発することは自分の心も大切にすることなのだ改めて感じました。そして、子どもたちにとって私たち大人の言動(言葉だけでなく態度やしぐさ)が大きく影響していることも忘れてはならないと考えました。控え室で、佐久間さんから「悪い性格(せいかく)の子は、いません。それぞれ個性です。悪い生活(せいかつ)の影響は、あります。我々大人が悪い生活をつくってしまっているのです。」という話もされていました。

子どもだけでなく誰もが、豊かで、安心した生活がおくれるようご家庭や地域の方とともに子育てをしていかなければと改めて感じています。